

# 病虫害発生予察注意報第1号

平成22年5月26日  
三重県病虫害防除所

1. 対象作物 ナシ、カキ等
2. 病虫害名 果樹カメムシ類 (チャバネアオカメムシ、ツヤアオカメムシ、クサギカメムシ)
3. 発生地域 県内全域
4. 発生時期 5月下旬～6月下旬
5. 発生量 多い

## 6. 注意報発令の根拠

- (1) 予察灯 (松阪市嬉野川北町設置) における5月第1半旬～第4半旬の誘殺数は、チャバネアオカメムシが169頭 (平年115頭) とやや多く、ツヤアオカメムシが36頭 (平年12頭) と多くなっています。
- (2) 東紀州地域における発生量も多く、5月第1半旬～第4半旬の予察灯 (御浜町志原設置) への誘殺数は、チャバネアオカメムシが2,080頭 (平年597頭)、ツヤアオカメムシ3,416頭 (平年1,563頭) と、いずれも平年より多くなっています。
- (3) フェロモントラップにおける5月1日～23日のチャバネアオカメムシ誘殺数は、山地の津市白山町川口が243頭 (平年143頭)、中間地の津市白山町二本木が478頭 (平年239頭)、平坦地の松阪市嬉野川北町が291頭 (平年40頭) と、いずれも平年より多くなっています。
- (4) 果樹カメムシ類は昨年秋における発生がやや多く、越冬量がチャバネアオカメムシで4.8頭/落葉3㎡ (平年0.6頭) と平年に比べ多く、クサギカメムシで55.5頭/越冬トラップ (平年44.0頭) とやや多い状況でした。

## 7. 防除対策と注意事項

- (1) 飛来数は園地による差が大きく、山林に近い園地で多くなる傾向があります。夜温が高く、風が弱い日に飛来が多くなりますので、園地をよく見回り、飛来を確認したら防除を実施してください。特に、過去に飛来が多かった園地では注意してください。
- (2) 果樹カメムシ類は夕刻から活発に飛翔するので、朝夕の薬剤散布が効果的です。また、なるべく広い範囲で散布日を合わせ、一斉防除することによって効果が高くなります。
- (3) 防除薬剤は、各樹種の果樹カメムシ類に登録のある薬剤を用いてください。薬剤使用の際には、再度ラベルの内容 (使用時期、使用回数、使用量、希釈倍数等) を確認してください。
- (4) 合成ピレスロイド系の薬剤を連続して散布すると、ハダニ類、カイガラムシ類の発生が多くなる傾向があるので、注意してください。